

VOL.04

玉川上水について調べてみよう！



2015.2 更新

○玉川上水とは…？

江戸の上水道。武蔵野地方では四谷（よつや）御上水戸とも呼んでいた。江戸の主要な上水道として玉川上水と神田上水があったが玉川上水は江戸の南部方面に配水されていた。玉川上水は多摩川の水を引いたので玉川上水と呼ばれたが取水口は羽村市にあり、全長はおよそ40Km。

（平凡社『世界大百科事典17』より）

○概要を調べる

R031『世界大百科事典 17』 下中弘／平凡社 [1988] 【館内】

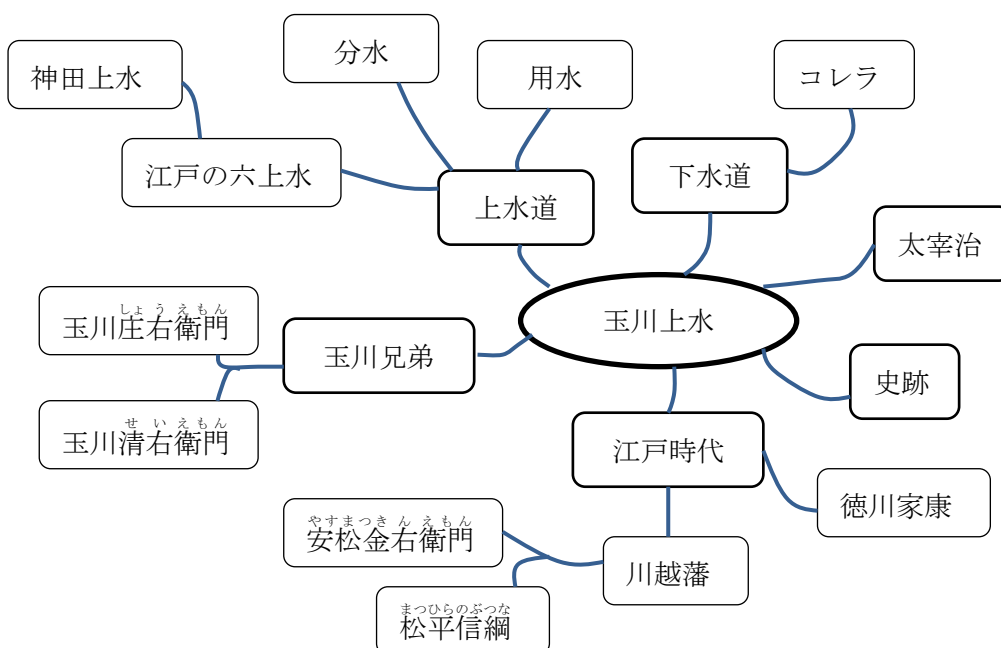
→388 頁に玉川上水の記述あり。配水される場所、歴史などが記載されている。

Y200『日本大百科全書 14』 渡邊 静夫／小学館 [1987]

→877 頁に上記のものとはほぼ同じ記載あり。こちらは多摩川の上空写真付き。

○詳しく調べる

▶関連キーワード



▶日本十進分類法で探す

【河川 452.9】 【多摩, 武蔵野 291.36】 【水道事業 518.1】
【農業用水路 614.3】 【開墾 614.5】 【丘陵 454.5】

▶地域資料で探す

【玉川上水 W-1-00, W-1-02】 【T29 地理】

▶例えばこんな資料

歴史について調べる

- R031『世界大百科事典 13』下中弘 /平凡社 [1988] 【館内】
→「上水」で調べると、日本の水道の歴史についての記載があり、日本や世界の上水道の歴史と構築についてくわしく説明がある。
- R031『世界大百科事典 8』下中弘 /平凡社 [1988] 【館内】
→「下水道」で調べると、下水道の歴史、処理問題についての記載があり、玉川上水は江戸時代に汚濁していたこともあったのでどぶの水のたとえとしても使われていた、という話も記載されている。
- T29『楽しく調べる東京の地理』 東京都小学校社会科研究会編著/日本標準 [2007]
→142~149頁に玉川上水の概要、歴史、現在の姿が写真や地図を豊富に用いて説明されている。分量は多くないが調べ学習に最適の資料だ。
- W-1-00『玉川上水 その歴史と役割』 羽村市郷土博物館/羽村市教育委員会 [2004]
→玉川兄弟がどんなことに苦勞しながら水路を造ったかということから、現在、どのように維持しているのかということまで、小学校高学年以上から読むことができるように、分かりやすい説明で書かれている。
- W-1-00『東京を築いた人々 玉川兄弟』 磯村 英一/さ・え・ら書房 [1979]
→なぜ、玉川上水を造るに至ったか、造ったおかげでどれだけの効果が得られたかということなどが玉川兄弟にスポットライトを当てながら書いてある。
- W-1-02『玉川上水と分水』 小坂 克信/新人物往来社 [1995]
→玉川兄弟がどのような道具を使って、どのように上水建設を進めたのかということが挿し絵も交えつつ、詳しく記載されている。歴史の流れが一覧でわかるように書いてあり、上水建設の歴史をまとめる人にはオススメだ。また、歴史だけではなく、汚染された上水が復活する様子も書かれている。

取水の仕組みを調べる

- W-1-02『東京都水道局発行パンフレット』 東京都水道局
→情報は複数のパンフレットにまたがっているが「水と人間の生活」という冊子では玉川上水が江戸時代に造られ江戸の町の水不足解消に貢献したこと、明治時代に入ってからコレラが大流行し浄水場が作られたことなどが記載されている。また、「羽村取水所概要」には水源、取水方法が写真付きで詳細に書かれている。

現在の玉川上水を楽しむ

・W-1-00『玉川上水散策絵図』 村松昭／アトリエ77 [1998]

・W-1-00『玉川上水ぶらり散歩』 小泉智和／日本水道新聞社 [2002]

→『玉川上水散策絵図』は説明が少ないが玉川上水全域になにがあるかを縦長絵図にまとめてあるのでひと目でわかる。

『玉川上水ぶらり散歩』には白黒写真であり、川全体のどの位置にあるかが不明であるが一ヶ所、一ヶ所の説明がとても詳しく書いてある。

『玉川上水散策絵図』と『玉川上水ぶらり散歩』と2冊を併用することをお勧めする。

・W-1-26『玉川上水の野草 第三集』織田 雅雄／小平市玉川上水を守る会 [1994]

→玉川上水周辺に咲く草花がカラー写真付で載っている。どんな花があるのか知りたい人にはオススメだ。

○図書以外の資料

◎ インターネット

・東京都水道局 [確認日:2015.2.4]

(<https://www.waterworks.metro.tokyo.jp/kouhou/pr/tamagawa/>)

→玉川上水の歴史や近隣施設、整備計画を調べることができる。

・玉川上水 散策地図 [最終更新日:2014.10.20]

(<http://homepage3.nifty.com/kousukekimura/tamagawajousui/>)

→玉川上水付近の駅や見どころを地図と写真で紹介している。PDFでダウンロードもできる。

・玉川上水事典 [確認日:2015.2.4]

(<http://www.geocities.jp/annaka29jp/index.htm>)

→小平市玉川上水を守る会が編集したHP。玉川上水の野草や蝶、野鳥、四季折々の写真をアップしている。目次や年表もある。

○関連団体

・羽村市郷土博物館 東京都羽村市羽村 741 TEL : 042-558-2561

→昭和 60 年 (1985) に開館した施設で、館内の「多摩川とともに」「玉川上水をまもる」「農村から都市へ」「中里介山の世界」「企画展示室」という5つのコーナーと、野外展示とから成る。「玉川上水をまもる」のコーナーでは、多摩川によって河岸段丘が作られた過程と、そこでの人々の暮らしや歴史、拡大する江戸の街の水不足を解消するために作られた玉川上水の歴史と仕組みが紹介されている。

(<http://www.nias.affrc.go.jp/silkwave/silkmuseum/TKYHamur/hamura.htm>) [確認日:2015.2.4]

・玉川上水ネット TEL・FAX : 03-3305-1795

→玉川上水流域で保全活動などを行っている11団体や、関心のある個人が集まって発足。玉川上水の望ましい環境を護るとともに、その良さを人々に広く知ってもらうための活動を行っている。

(<http://www.ngo-npo.org/josui/>) [確認日:2015.2.4]

・東京都水道歴史館 〒113-0033 文京区本郷二丁目7番1 TEL 03-5802-9040 FAX 03-5802-9041

(<http://www.suidorekishi.jp/index.html>) [最終更新日:2015.2.6]

→玉川上水にまつわる感動の物語や江戸上水のしくみを、上水井戸や木樋、古文書などの資料や展示で紹介。他にも江戸・明治・現代の水道事業を学べる施設。入場は無料。

○プラス・ワン！

マンガ

・ T29『水道のひみつ』 おがたたかはる画／学習研究社【2013】

→東京都水道局の協力のもと「水道」の疑問をわかりやすく解説した漫画。所々に図や写真解説記事もあり、楽しく読みながら学習できる本。98頁からは玉川上水を作った玉川兄弟の話も触れられているよ。